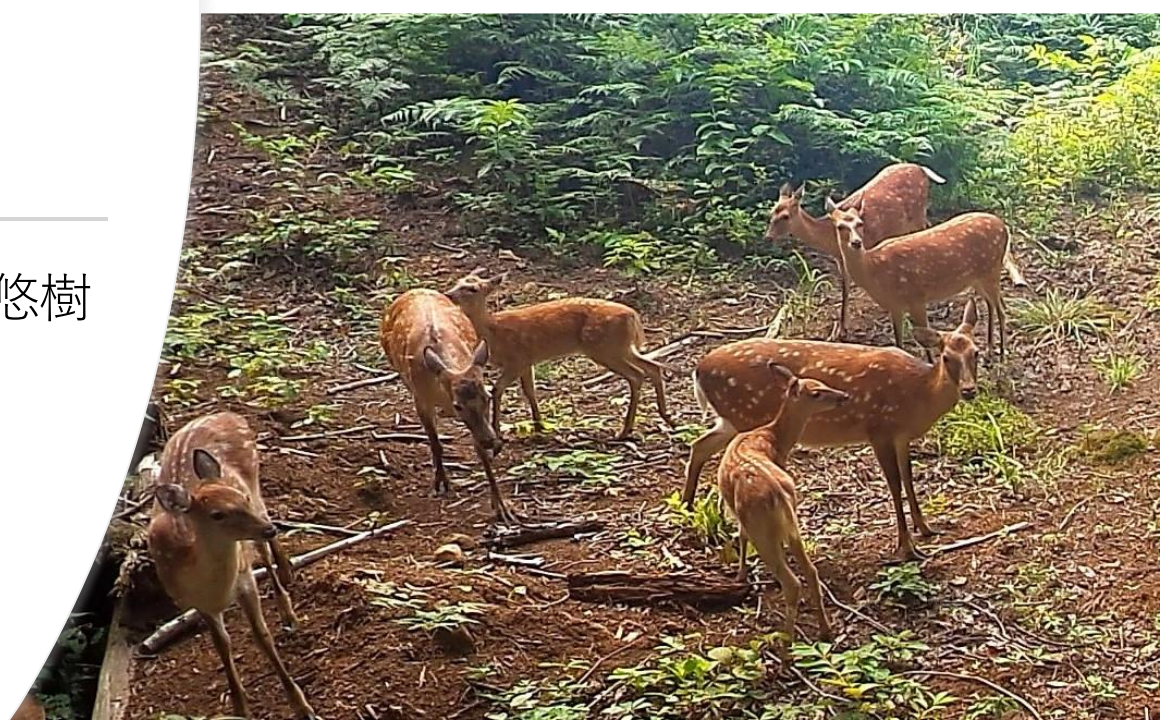
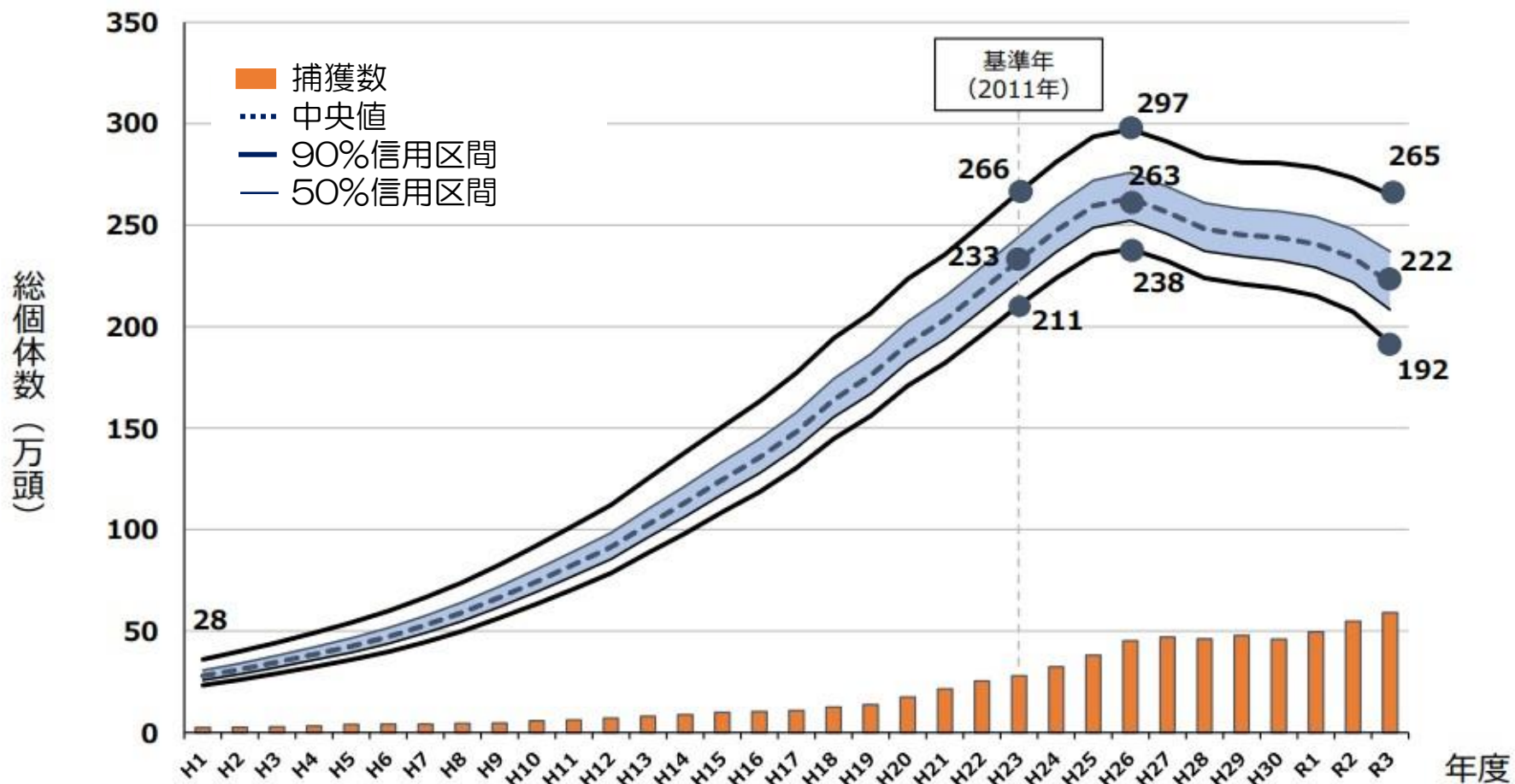


# シカの分布拡大と 対応策に関する 研究について

林業研究研修センター 菅原悠樹



# ニホンジカの推定個体数の推移（本州以南）



※ 令和3(2021)年度の自然増加率の推定値は、中央値1.20(90%信用区間:1.17-1.23)  
 ※ 令和3(2021)年度の北海道の推定個体数は、東部地域31万頭、北部地域18万頭、中部地域20万頭、南部地域3~20万頭(北海道資料)

※「令和3年度ニホンジカ及びイノシシの個体数推定及び生息状況等調査業務」(環境省)により作成

## ニホンジカ分布域

- 1978年度調査で生息を確認
- 2003年度調査で新たに生息を確認
- 2011年度調査で新たに生息を確認
- 2014年度調査で新たに生息を確認
- 2020年度調査で新たに生息を確認



秋田県でも  
近年増加傾向

※「令和2年度ニホンジカ及びイノシシの個体数推定及び生息状況等調査業務」(環境省)により作成



①天然林におけるシカの食害による  
下層植生の消失(三重県)

②スギ人工林におけるシカの剥皮害  
(滋賀県)

③シカの食害を受け成林が見込めない  
新植地(静岡県)

# 植栽木に対するシカ食害防止対策

- ・ 忌避剤の散布  
苗木にシカが好まない成分の薬剤を散布
- ・ ツリーシェルターによる保護  
苗木を1本ずつ保護資材で覆う方法
- ・ シカ柵による防除  
新植地の周囲をシカ柵で囲いシカの侵入を防ぐ方法

資材の設置、柵やシェルターの点検・修理、成林後の撤去など

造林・育林コストが増加する



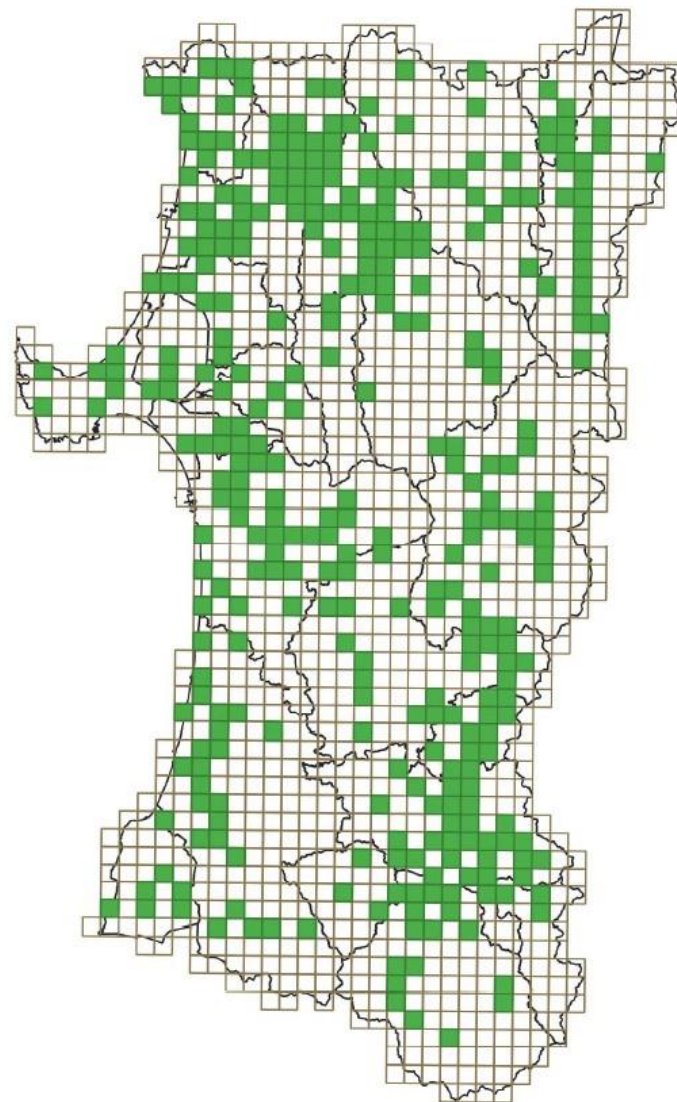
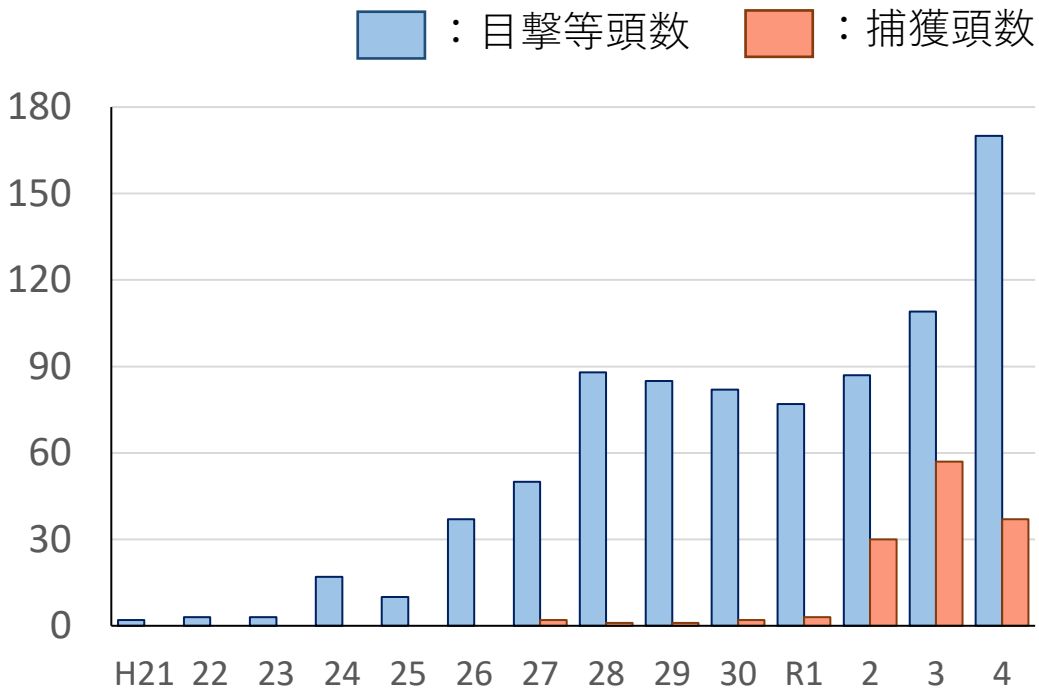
ツリーシェルター(東北森林管理局HPより引用)



シカ防護ネット(林野庁HPより引用) 4

# 秋田県におけるシカ目撃等頭数・捕獲頭数の推移

# H21-R4 ニホンジカ目撃等位置図



## 秋田県の管理目標

シカが群れとして安定的に定着しないよう  
捕獲圧を強化することで、個体数の増加、  
分布の拡大を抑制する

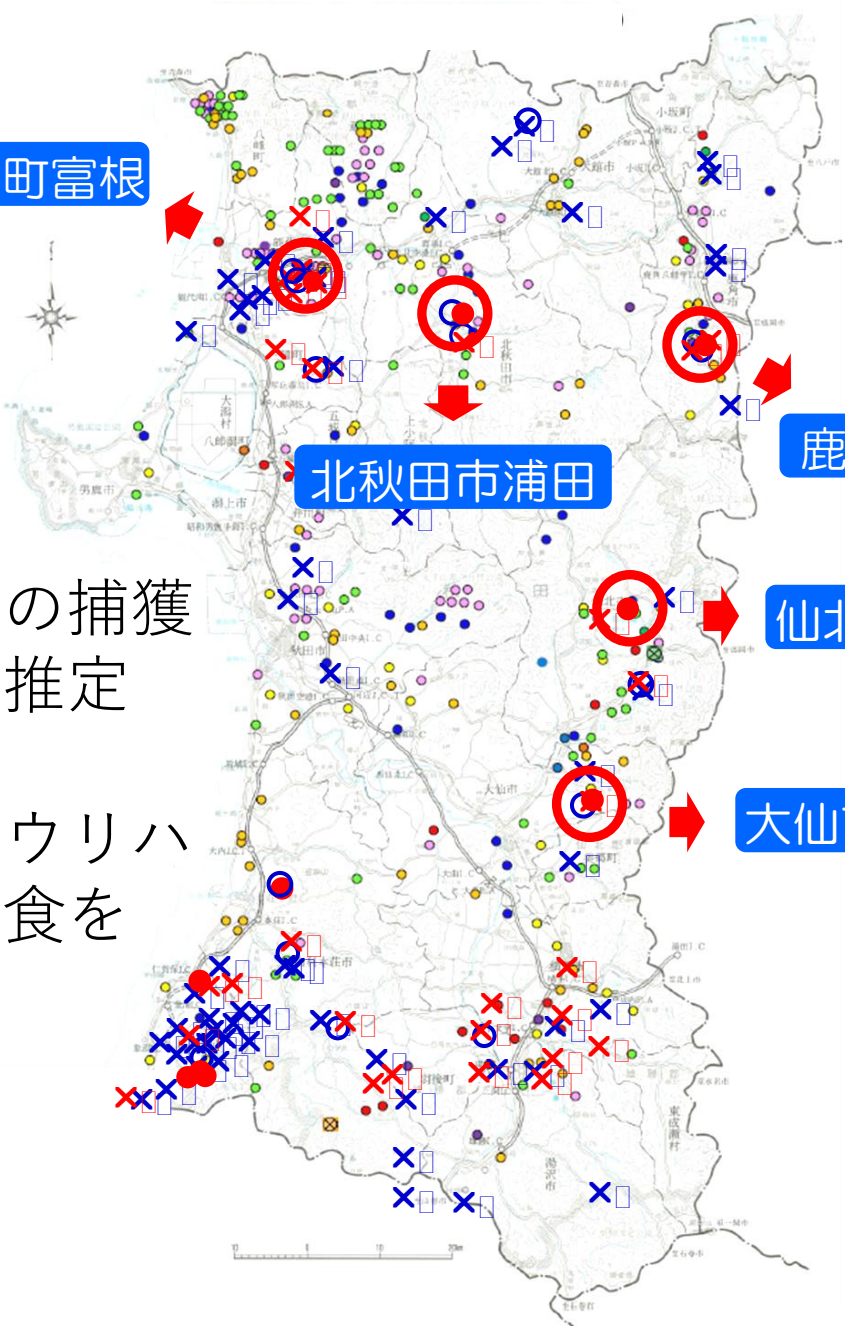
(秋田県ニホンジカ特定管理計画)

- 採餌箇所が限られる
- 雪による行動制約

越冬箇所（冬期滞在地点）で集団化する



課題名：ニホンジカの個体数を制御するための生息環境の解明(H30～R4)



能代市二ツ井町富根

北秋田市浦田

鹿角市八幡平

仙北市田沢湖周辺

大仙市太田町川口

- 痕跡調査によりシカの捕獲に適した越冬箇所を推定
- 越冬箇所ではフジやウリハダカエデの樹皮の摂食を確認

- 8-11月採取陽性
- ×□ // 陰性
- 2-3月採取陽性
- ×□ // 陰性
- 両時期陽性  
⇒越冬候補地



# 課題名：低密度下における越冬地予測技術の高度化と捕獲適地の提示(R4~6)

(森林総合研究所交付金プロジェクト)



囲いわなによるシカのむれ捕獲

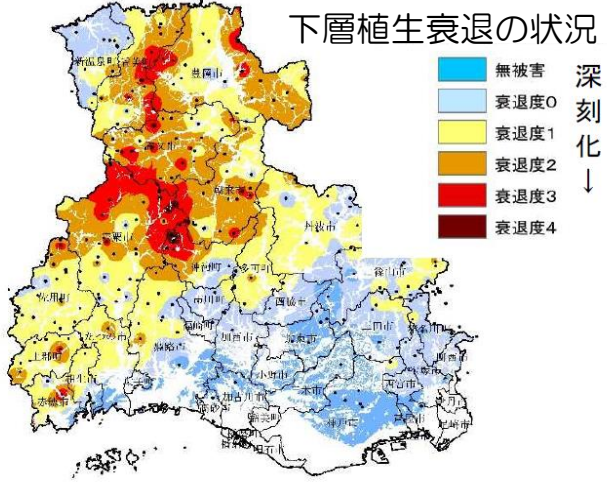


積雪地域におけるくくりわなの捕獲

越冬候補地を予測して実際に捕獲を試みる

植生変化から生息密度の濃淡を推定（兵庫県）

- ➡ 定点を設け、目測で衰退度を計測
- ➡ 低密度の状態では改良が必要



- シカの痕跡が多い地域で植生調査を行うことで、シカ生息密度の指標になる植物や環境を明らかにする
- 指標を基準にしてその地域の生息密度を濃淡で示す

